



いよいよ今年も残すところあと一か月になりました。朝晩の冷え込みも厳しく、空気も乾燥し風邪などひきやすくなる季節です。子どもたちにとってはクリスマスやお正月と楽しいことがいっぱい時期ですが、規則正しい生活を心がけ寒い冬を元気に過ごせるようにしましょう。 看護師 萩原



風邪をひいてしまった場合は



11月はこども園でもインフルエンザA型が流行しました。まだまだこれから風邪や感染症が流行する季節。基本的な手洗い・うがい大切です。咳や鼻水の症状がある場合は早めに受診し、ひどくなったり、長引いたりしないように気を付けましょう。

風邪であれば、ほとんどの場合は安静に過ごすことで自然に治ります。しかし、集団生活をしているお子さんは、免疫力が下がった状態で登園すると他の感染症にかかりやすく、症状が長引く原因にもなります。また感染対策を行っていても、感染を完全に防ぐことは難しいため、集団生活に適應できる状態に回復するまでは、家庭保育をお勧めします。

また、小さいお子さんは気管支炎や肺炎、中耳炎、結膜炎などの病気を合併しやすいため、ご家庭でお子さんの様子をよく観察し、体調の変化が見られたら早めに受診するようにしましょう。

感染性胃腸炎（ノロウイルス・ロタウイルスなど）の感染対策のお願い

重症化や感染拡大を防ぐため、以下のことにご協力をお願いします。



- 症状があって受診せず様子を見る場合は、ご家庭でお子さんの様子をみてください。症状の原因や病気の程度が分からない状態で登園することがないようお願いいたします。（入園・進級のしおりの11・12ページ参照）
- 感染性胃腸炎と診断された場合は直ちに園に連絡してください。登園は症状改善後、登園許可証をもらってからお願いします。
- 園で2回以上（流行している時は1回）の下痢・嘔吐があった場合は連絡しますので、お迎えをお願いします。感染性の場合は、きょうだいも一緒にお休みをお願いします。
- 感染症対策として、必要に応じておむつのお持ち帰りをお願いする場合があります。

身体測定日

0～3歳児 12/5(金)
4～5歳児 12/11(木)

当日はパンツ(オムツ)と肌着を着て測定します。髪は頭の上には結ばないようお願いします。



インフルエンザの予防接種はお済みですか？

今季インフルエンザは早くから流行しましたが、例年は1月末から3月上旬に流行のピークを迎えます。

インフルエンザワクチンが十分な効果を維持する期間は、接種後2週間から5か月間程度であることから、12月中旬までに接種を終えることが望ましいとされています。まだ接種されていない方、今季罹患した方も有効とされていますので、早めに接種しましょう。

また、年長児は、麻しん風しん混合(MR第2期)も忘れずに接種しましょう。

受診結果報告書の提出について

10月に行った視力検査・内科健診の結果、受診が必要となった方は必ず受診して、受診結果を12月19日(金)までにお知らせください。